

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 2月 19日

事業所名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		戸外活動をしたり、室内と室外に分かれて活動するなど工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切である	100%		基準以上の職員配置をしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	75%	25%	一部バリアフリーではないところもありますが、利用者様が不便にならないように工夫しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%		整理整頓、清潔で過ごしやすい室内外に努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%		計画、実行、評価、改善についての話し合いを職員間で共有し、課題に対する継続的改善を目指している
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%		ホームページで結果を公表し、支援の質の向上と改善に努めます。。また、個人の自己評価と併せて事業所としての自己評価も
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	75%	25%	3月に外部の方々を招き、療育の実際を見学していただき、ご忌憚のない意見をいただき業務改善に努めています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		毎月1回、午前中に全職員を対象に事業所内研修を行い、質の向上を図っております。また、事業所外の研修にも積極的に参加し、他の職員に伝達講習をするなど学んだことをみんなのものにするようにしております。
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%		色々な業種(療法士・保育士・児童指導員・教諭等)の職員が多角的に子どもを見て意見を出し合い支援計画の作成をしております。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	75%	25%	検査ツールを用いて行ってもらった結果を共有し、相談に繋げています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されています	100%		全職員で多角的に子どもを観察し、具体的な支援内容を設定しております。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%		課題になったことを意識した計画を組み支援を行っています。
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		療法士、保育士、教諭、指導員などが互いに意見を出し合い、チームで計画立案と支援を行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%		集団や個別共にお子さんのニーズや苦手に合わせて活動を行っています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	75%	25%	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%		
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		毎日利用時の様子を記録し、支援の検証改善に努めています。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%		定期的に保護者の方に来所いただき、支援計画の結果や見直しを説明しております。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%		サービス担当者会議には子どもの状況に精通したものが出席しております。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	75%	25%	必要に応じて関係者や関係機関との連携をしております。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		100%	対象児がいません
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		100%	対象児がいません
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	75%	25%	必要に応じて連携を持ち、情報共有と相互理解に努めています。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	75%	25%	必要に応じて連携を持ち、情報共有と相互理解に努めています。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		100%	見学に行かせていただいたり、助言等の研修を行っております。深まっていないのが現状です。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	75%	25%	いろいろなイベントや遊び場を訪れそこで障害のない子どもと共に活動することもあります。また、地域の公園では学校区の子供達と一緒にドッチボール等の遊びを行って
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%		積極的に参加し、学んでおります。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		保護者とお会いできる時には日々の取り組みや姿、課題を話し、お会いできない保護者には連絡帳でお伝えしております。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	75%	25%	ペアレントトレーニングと銘打っての活動はありませんが、保護者の心配事等の相談支援は随時行ってい
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	75%	25%	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%		児童発達支援計画を示しながら、前回の振り返りや課題を話し、新しい計画の説明を行い、同意を得ています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		いつでも来所いただいて相談できる体制を作っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		100%	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		いつでも相談できる体制づくりを行っております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		園の便りや、写真を発行し、療育の見える化を図ってきました。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%		取り扱いには十分配慮しております。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		絵表示や写真、連絡帳などで分かりやすい方法をとっています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%		外部の方を3月に招き、療育の実際を参観していただき、忌憚のないご意見をもとに業務改善をしていきマニュアル作成をし訓練しております。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		年3回訓練を行っております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%		契約時や、その都度確認を行っております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%		ヒヤリハット事例集を作成し、全職員で共有し、事故防止に努めてい
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		虐待防止の研修を行い、意識の向上と防止に努めております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%		車いすが必要なお子さんには保護者の方の同意を得、記録に時間等の記載を行っております

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。



**課題や改善すべき点を踏まえた  
改善内容又は改善目標**

季節に応じた活動やお子さんの  
特性や発達段階に合わせたプロ  
グラムを計画し、固定化しないよ  
うにしていきます。

**課題や改善すべき点を踏まえた  
改善内容又は改善目標**

職員間で共有できるようにしていきます。

振り返りの中で成長や課題を話し合い、次の支援に繋げています。全職員が参加できていないので共有すべきことが周知できるようにしていきます

丁寧な説明を心がけます。

課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標

課題や改善すべき点を踏まえた  
改善内容又は改善目標

コロナ禍もあり、できておりません。

対象児がいません。